

# 2年 道徳

**主題名** 友達のために  
**中心内容項目** B-(9) 主として人との関わりに関すること(友情)  
**ともだちやもんな ぼくら**  
 平成30年 6月25日 5校時  
 児童 2年 1組 35名  
 授業者 横山 理恵

## 1 主題設定について

低学年の発達段階においては、少しずつ集団生活にも慣れ、行動範囲や人間関係も広がってくる。家族以外の教師や友達との関わりの中で、規範意識や善悪の判断を始め、やさしさ、思いやり、人を信じることの大切さを培っていくことができるようになってくる。

また、学校生活の中での友達との関わりは、児童が自分を見つめ直し、自分を知る第一歩になると同時に、自分を成長させる上で大切な役割を担っていると考ええる。

友達と仲良くすることで感じる、楽しさや嬉しさといった「楽しい時間の共有」といった側面だけでなく、友達の気持ちを察し、信頼して助け合うことができるのが友達であるということに気付かせたい。

## 2 他教科・他領域や日常指導などとの関連

日常生活の中で、掃除や給食だけでなく、学習活動の中でもグループでの活動を充実させている。自分だけでなく同じグループの子が今できているのか？困っていないか？を常に意識させるようにしたい。自分なりに状況判断をし、仲の良さに関係なく、自然に声をかけたり、手をさしのべてあげられる人間関係作りを目指している。友達からしてもらって嬉しかった経験や、友達にしてあげて喜んでもらった経験が、次の助け合いの行動につながるであろう。そこから、新たな友達関係の構築や友情が深まっていく事を期待したい。

## 3 児童の実態

本学級の児童は、友達と関わる事が好きな子が多く、休み時間には、声をかけ合い体育館などで汗を流しながら楽しむ様子が見られる。一方、低学年特有の自分本位でわがままな言動も多い。また、自分自身の事で精一杯で、他の友達の様子や気持ちにまで思慮が及ばない児童も多く見られる。そこで、助け合うことで生まれる友情の良さを感じ、自分でもやってみたいという実践意欲に結びつけたいと考える。

### 事前アンケート調査

① 友達だと思う人はいますか。	◎33名 ○2名 △1名
② これから友達になりたい人はいますか。	いない 6名
③ 友達ってどういふ人のことですか。	わからない 17名 なかよしな人・いっしょにあそぶ人 そうだんにのってくれる人 など

## 4 教材分析

本教材は、3人の仲良しな男の子の話である。近所のかみなりじいさんにつかまったヒデトシを迷った末に助けに行く。かみなりじいさんに怒られる怖さをしっかり読み取らせた上で、迷った主人公の気持ちにしっかりと寄り添わせたい。自分の怒られたくない気持ちから、だんだん、ヒデトシの事を思いやる気持ちが強くなっていくことに気付かせたい。

ヒデトシを助けた後の、お互いに嬉しい気持ちや、友情が更に深まっていることに気付かせることで、自分自身の道徳的実践意欲につなげていきたい。

総合単元ユニットとの関係(体験的な道徳との関わり)

友達が困っている時に助け合ったり、友達と協力することで、更に友情は深まることを理解し、仲良く助け合っていこうとする心情を育てたい。

## 6 自分の心と向き合う道徳

**価値への意識づけ**  
 道徳的価値との意識の「ずれ」を感じさせながら問題意識へとつなげていく。

**自分との対話**  
 中心発問とまとめの場面で、書く活動を取り入れることにより自分の心と向き合う。

**相手との対話**  
 価値を深める補助発問の場面で、友達の考えを聞くことにより考えを交流させる。

**価値に対する見取り**  
 具体的な事例を挙げて、話し合いねらいとする道徳的価値について自分とのかかわりできっかりと考えさせる。

## 7 本時の学習

### (1) 本時のねらい

- ・身近にいる友達と仲良く過ごし、助け合って生活しようとする心情を育てる。

### (2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (○基本発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり ●事前アンケートの結果をもとに、想起させる。
体験を想起する	<b>1 自分にとっての友達を具体的に想起させる。</b> ○自分にとって友達ってだれですか？これからもっと友達になりたいという友達はいますか？ ・○○さん (具体的に) ・○○くん (男女関係なくてもよい) ○その友達は、どんな時に「ともだちだな」って思いますか？ ・一緒に遊ぶ時 ・何かしてくれた時 ・やさしくしてくれた時 ・楽しい時 ○その友達にとって、自分は本当の友達とってもらっていると思いますか？ <b>《価値への意識づけ》</b> <b>友達になるために 大切なこと</b>	<b>友情という言葉を紹介する。</b> ◎自分は友達だと思ってもらえているのだろうか？本当の友達なのだろうか？ そのために必要なことは何なのかを普段あまり意識して行動していないことに気付かせ、価値への意識付けさせる。 ●登場人物の葛藤場面の移り変わりを対比させて提示することで視覚的に捉えやすくする。 ●自分のことばかり考えていたぼくがヒデトシのことを考える心の割合がだんだん増えていったことをハート図で提示し、視覚的に捉えやすくする。 ◎自分との対話 ノードに自分の考えをまとめる。その後、ノードの記述をもとに自分の考えを全体に発表させるようにする。 □道徳的心情(ノート・発表) ただ、仲良くするだけでは友達ではないという友達の質の違いに気付かせる。 ◎相手との対話 友達の意見を聞きながら、様々な考えにふれ、理解を深める。 □道徳的判断力(発表) ◎自分との対話 友達のことを考えて積極的に行動することが必要であること。困っている時に助けてあげることが本当の友達には必要であることに気付かせ、実生活に生かし、よりよい友達関係を築こうとしている ●普段の生活で友達に親切にしているエピソードを紹介する。 ◎交流 □道徳的実践意欲(ノート)
心を耕す	<b>2 教材「ともだちやもんな ぼくら」を読んで話し合う</b> ○ヒデトシをおいて逃げていたぼくは、どんな気持ちだったでしょうか？ ・つかまりたくない ・こわい ・おこられたくない ・とにかくにげなくちゃ ○ヒデトシのことを どう考えて 悩んでいるのでしょうか？ ・おいてきてわるいな ・今ごろ一人でおこられているかな ・しんばいだな ・泣いているかな ・ぼくのことおこっているかな？ ・助けたいな ◎「なやんでいたけど やっぱり助けようと思ったのはどうしてでしょうか」 ・おこられても、たすけようと思った。 ・じぶんだったら・・・と考えた。 ○助けに行った後のぼくはどんな気持ちでしょうか ・「やっぱり」行ってよかった。 ・助けられてよかった。 ・怒られなくてよかった。	
考えを創造する	○助けに行く前と後では、友達の大きさは同じでしょうか？ ○もし、おこられていたらこんな気持ちになったでしょうか？ <b>3 自分の心と向き合い、価値を深める</b> ○友達とは、どういうものだと思いますか？ ・友達とは、困っている時には助けてあげる。 ・自分だったらと考えてあげる。 ○クラスのエピソードをいくつか紹介する。 ○交流 <b>《価値に対する見取り》</b> <b>友達とは、困っている時に助けてあげられること。友達のことを考えてあげることが大切。そうすると友情は深まる。</b>	
発信する	<b>4 本時のまとめをする</b> ※ 本時の学習を振り返る。	

### (3) 本時の評価

- ・身近にいる友達と仲良く過ごし、助け合って生活しようとする心情を育てることができたか。